

例会報告：2016年2月2日（晴れ） 第1921回 通常例会

◆ 新会員入会式

長田 英一（おさだえいいち）さん
昭和45年2月26日生
有限会社長栄（食乃壺）
代表取締役



◆ 旦那様誕生日

久保田 登志男さん（2月7日）

◆ ニコニコ箱

櫻井 康二 委員長

| | ニコニコ箱 | 累計 | 目標 |
|-------|--------|---------|-----------|
| 2月2日分 | 20,000 | 552,001 | 1,300,000 |

◆ ビジター

村上 仁様（足柄RC）…初めてです。よろしくお願ひいたします。

山地 裕昭様（足柄RC）…IM大盛行おめでとうございます。本年もよろしくお願ひします。

川田 隆志様（小田原中RC）…お世話になります。先日のIMは皆様ご苦勞様でした。とても良いIMでした。

◆ 旦那様誕生日

久保田 知子さん…主人の誕生日祝っていただきありがとうございます。この所釣り三昧で、おかげ様で旬の美味しい魚がいただけてます。感謝！感謝！

◆ その他

執行部一同…梅の便りが届く季節となりましたが、まだまだ厳しい寒さが続いております。ニコニコ箱も同じように寒い風が吹いているようですので、皆様ご協力よろしくお願ひ致します。

清 康夫さん…①孫娘（立命館アジア太平洋大学3年）が、この1月8日よりデンマークのビジネスの研究で6～8ヶ月内、勉強に行きました。成長して無事に帰ることを願って少々。②元交換学生のリ・ワンチよりクリスマスカードを頂きました。彼女は当時我が家に10ヶ月程おり、本当に娘のように思います。ブラジルへ行く前日、東京にてしばしのお別れ食事を致しました。子供ゆくと君の成長が楽しみです。

河野 秀雄さん…①小嶋章司君、君もロータリーが好きだったね。淋しいよ・・・②ネクタイなしごめん

杉崎 勝成さん…長田さん入会おめでとうございます。又会員のみな様、よろしくお願ひ致します。

菊地 義雄さん…①パッチ忘れしました。②長田様ようこそ。

櫻井 康二さん…長田さんようこそ。これから宜しくお願ひします。

◆ 今後のメークアップ情報 ◆

-2016年2月-

- ▶10日(水) 小田原北 報徳会館 12:30
「卓話：鈴木会員・市川会員/
私にとっての小田原北RC」
- ▶11日(木) 小田原中 休会
- ▶12日(金) 湯河原 ニューウェルシティ湯河原 12:30
「卓話：会員による卓話」
- ▶12日(金) 足柄 おんりーゆー 12:30
「卓話担当：IT」
- ▶15日(月) 小田原 報徳会館 12:30
「卓話：クラブフォーラム/小関哲哉様」
- ▶16日(火) 箱根 富士屋ホテル 12:30
「卓話：出席委員/中村 靖会員」
- ▶17日(水) 小田原北 報徳会館 12:30
「卓話：社会・国際奉仕委員会 委員長
井島 誠行様」
- ▶18日(木) 小田原中 報徳会館 12:30
「卓話：元麻薬取締員 本田 正純様/
薬物乱用の怖さ」
- ▶19日(金) 湯河原 ニューウェルシティ湯河原 12:30
「卓話：会員による卓話」
- ▶19日(金) 足柄 おんりーゆー 12:30
「クラブフォーラム：担当 特別」
- ▶22日(月) 小田原 報徳会館 12:30
「卓話：ピーサイズ（株）代表取締役八木啓太様/
（仮題）新しいモノづくりの在り方」
- ▶23日(火) 箱根 夜間例会
- ▶24日(水) 小田原北 報徳会館 12:30
「卓話：社会保険労務士 大谷 真様」
- ▶25日(木) 小田原中 報徳会館 17:30
「クラブフォーラム：新会員セミナー報告」

【小田原城北ロータリー・クラブ】
事務局：〒250-0211 小田原市鬼柳172-9
電話：0465-37-1222 FAX：0465-37-7377
URL：<http://www.odawarajhrc.jp>
Mail：info@odawarajhrc.jp
例会場：小田原卸センター内会議室
創立：1976年4月2日 承認：1976年5月8日
例会：毎週火曜日 12:30～13:30
クラブ会報委員会
監修：柳井 涉
編集長：小林 和彦
コピーライター：小林 和彦
デザイン：小林 和彦
フィールド：大川 久弥

会員数：42名



国際ロータリー第2780地区

小田原城北ロータリー・クラブ

R.I. DISTRICT No.2780
ODAWARA JOHOKU R.C.
2015-2016
WEEKLY BULLETIN



世界へのプレゼントになろう

世界へのプレゼントになろう

Be a gift to the world

本日の例会：通常例会（第1922回）

会場：小田原卸センター内会議室
日時：2016年2月9日 12：30～13：30
司会：須藤 公司 副幹事

| | |
|-------|--|
| 12：30 | 開会点鐘：木村 頼弘 会長 ロータリーソング斉唱 「我等の生業」 スピーカーおよびビジターの紹介 慶事祝福 会長挨拶 幹事報告／出席報告／委員会報告 同好会報告／ニコニコ箱 閉会点鐘：木村 頼弘 会長 |
| 13：00 | クラブフォーラム（職業奉仕） |

■地区活動目標の概要

| | |
|------------|--|
| 1.奉仕活動 | ポリオ撲滅最優先 R財団地区補助金事業推進 |
| 2.公共イメージ | IM クラブ周年記念事業 ロータリーデーなどイメージ向上の機会を創る |
| 3.寄付 | 財団 : 一人当たり 200ドル以上 米山奨学 : 一人当たり 20,000円以上 ポリオ撲滅 : 一人当たり 40ドル以上 ベネファクター：1クラブ 1名以上 ロータリーカードの普及 |
| 4.会員増強 | 10パーセント 衛生クラブを立ち上げる。 |
| 5.中核的価値観 | ロータリーを学び、また学ぶ機会として、例会・IM・地区委員会・地区セミナー・地区大会・国際大会の出席率を高める。 |
| 6.オンラインツール | My Rotary ロータリークラブセントラルにクラブ情報入力 |
| 7.特別月間 | 戦略計画とR財団6つの重点分野を学び実践する機会として理解する。 |



【会 長】木村 頼弘
【副会長】久保田 知子
【幹 事】柳井 涉
【副幹事】須藤 公司
【会場監督】西 寛

楽しさと感動を呼ぶ一年にしよう

【今後の例会・卓話スケジュール】

- 2月16日（火）通常例会 12:30
担当：久保田会員
卓話：社会福祉協議会 平本様
- 2月23日（火）40周年記念事業例会 12:30
移動例会 記念植樹
- 3月1日（火）40周年卓話例会 12:30
- 3月8日（火）40周年準備例会 12:30
- 3月15日（火）通常例会
クラブ協議会（PETS報告）
- 3月22日（火）通常例会
クラブフォーラム（社会奉仕）
- 3月29日（火）休会
- 4月2日（土）40周年記念式典
- 4月12日（火）通常例会 12:30
担当：鈴木会員
卓話：みずほ証券（株）経営調査部投資教育推進室
室長 浜崎祐一郎様



RAC
会員募集中

相応しい会員をご紹介ください！

例会報告：2016年2月2日（晴れ） 第1921回 通常例会

会場：小田原卸センター内会議室
日時：2016年2月2日 12：30～13：30

❖ 会長挨拶

「節分の豆まき」について



木村 頼弘 会長

明日2月3日は節分です。今日は「節分」についてお話しします。皆さんは節分と言えば何を連想するでしょうか。節分と言えば豆まき「鬼は外・福は内」といって豆を撒いて鬼退治をするとか、撒かれた豆を食べると1年間、元気で過ごせるとか、そんなイメージがあると思います。今はお寺や神社の人寄せのイベントみたいな形で行っているのが一般的ですが、なぜ節分に豆を投げるのか、なぜ鬼退治なのか、私も皆さんも多分真剣に考えたことはないと思うので今日は簡単に「節分」についてお話をします。

そもそも節分とは、「季節を分ける」という意味があり、日本には季節が4回あり節分も本来は4回あります。しかし、室町時代の頃から旧暦の立春を1年の始まりの大切な時期と考え、立春の前日を「節分」と言うようになったそうです。ではなぜ「鬼」を退治をするのでしょうか？「鬼」は本来、死者の事を意味します。今で言う亡霊みたいなものです。「鬼」と言う漢字の由来は「人が死者の頭をかぶって神様の場所に座っている」という意味があります。ですから死者を司る神を「鬼」と呼ぶようになったとされています。また「鬼」と言う字を「神」と読ませる文献もあります。（九鬼文書「くかみもんじょ」）ですから昔は良い「かみ」には神様の「神」、悪い「かみ」には「鬼」と言う字を当てていました。恐ろしい出来事は鬼の仕業「この世に存在してはならない物」と考えられてきました。そして、昔から、「鬼」は季節の変わり目に、生まれると言われています。よって「節分」の「季節の節目」に「鬼」がこの世に現れないように、払い清めなければならぬと、古代の人々は考えたようです。

では、なぜ、豆を撒くのでしょうか？豆などの穀物は、どんな過酷な条件でも蘇り、芽を出し実をつける事から、神聖な生命力が宿ると信仰されてきました。よって穀物は邪気や魔物を払い清める穀霊すなわち（穀物に精霊が宿っている）と信じられていました。

なぜ大豆かと言うとこれは逸話ですが、その昔京都にある鞍馬山に鬼が出た際に、毘沙門天様が「鬼に大豆を投げて」退治したという話があります。そこから豆まき=大豆となったようです。そんな理由から、鬼退治には穀物の大豆を撒くようになったそうです。豆のまき方は、鬼は夜に「鬼」の鬼門である北東からやって来ます。そして家の主が豆を撒く役目とされていました。撒く豆も必ず炒った豆でなければなりません。生の豆を撒くと、取り損ねた豆から芽が出て鬼が甦りまた禍をもたらすと言われています。そして、自分の年齢より一つ多く豆を食べると、新しい年の厄払いになると言われています。明日は節分です。自分の年の教程、豆は食べませんが、何粒か食べて無病息災を祈って頂きたいと思います。

❖ 幹事報告



柳井 渉 幹事

- 1)本日第8回定例理事会が開催されました。
- 2)地区より第5回日台ロータリー親善会議が6月5日（日）に石川県立音楽堂コンサートホールで開催されます。登録締め切りは2月22日です。
- 3)2月のロータリーレートは1ドル120円です。
- 4)ガバナー月信2月号で「地区チームセミナー」の日程の訂正が来ています。開催日が3月10日を2月10日に訂正をお願いします。
- 5) 本日理事会において2月23日の例会は移動例会と承認されました。詳細は40周年実行委員会記念事業部会長から報告があります。
- 6) 金山会員から退会届が提出され理事会において承認されました。

❖ 出席報告

阿久津 馨 委員

| 出席報告 | 会員数 | 出席 | M.U | 出席率 |
|-------|--------|----|-----|--------|
| 2月2日 | 42(41) | 35 | 0 | 85.37% |
| 1月26日 | 42(40) | 34 | 2 | 90.00% |
| 1月21日 | 42(38) | 34 | 0 | 89.47% |

【欠席者】6名
石崎 孝、志澤 昌彦、大野 英明、石坂 弘之、小川 和夫、一寸木 芳行
【今回MU】なし
【前回MU】1名増加
菊地 義雄（1/29 足柄RC）
【前々回MU】増加なし

❖ 委員会報告

40周年実行委員会・記念事業部会 中村部会長

まず米山奨学生に関する話です。以前足柄RCに来ていた李さんにしばらく連絡が取れなかったのですが、コートジボワールで反政府軍に捕まっていたけれど無事に釈放されて帰ってきたそうです。また2009年にうちがお世話したモンゴルのロカくんが東京大学大学院に合格して4月からまた来日する報告を受けました。この2009年からモンゴルとのお付き合いが始まりました。ここ数年交流が深まり、40周年記念に友好クラブ締結しようという機運になりました。そのシンボルの樹を2/23フラワーガーデンでの移動例会の時に諏訪の原公園で記念植樹いたします。多くの方に見ていただきたいと思いますのでよろしくお願ひします。35周年に植えたムクゲ、25周年の梅もどうぞ確認してください

❖ Table flower

- アネモネ
 - マトリカリア
 - スプレーストック
 - スプレーカーネーション
- 【花言葉】
アネモネ：「真実」「真心」
マトリカリア：「楽しむ」
スプレーストック：「ふくよかな愛」
スプレーカーネーション：「感動」



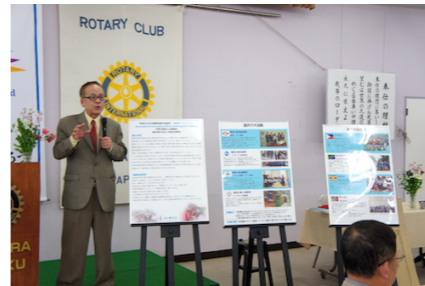
❖ 卓話

「音楽を通しての国際交流」

子供のための国際音楽交流協会代表 岩井 光祐 様



AIMECという活動は「Association of International Music Exchange for Children」の略で「子供のための国際音楽交流協会」です。7年前に南足柄の行政や教育委員会に力を貸してもらって全小中学校から鍵盤ハーモニカを集め、それをフィリピンに届けたのが始まりです。フィリピンで4～5年続けてからアフリカやモンゴルにも広げてきました。皆さんが使わなくなった楽器を、何十キロもの荷物にして背負って自分で届けています。私は外資系の会社にいたので、現地に届けるだけでは駄目だと分かっていた。日本から渡したものがどこかに行ってしまう不安があり、実際目減りしていくのも確かです。皆様も慈善活動をなさってきてガツカリされたご経験があるでしょう。私たちは現場主義で、集めるのも大変ですし、ちゃんと使われなければ意味がありません。ともかく消費者である子どもたちには自分で持っていく、それが大切です。二番目は届けたあと、届けてから1～2週間滞在中、どのように使うか使われるかを確認します。どのような音楽・バンドを作るのかということまで考えた上で差上げます。フィリピンでこんなことがありました。去年20台渡したのに1年後に15台しかない。校長先生にお聞きすると「火事で失った」と。事実学校の周りを見ると焼野原でした。そこで確認します。また、鍵盤ハーモニカは使うけどリコーダーは使わないというところもありました。では返してくれと。あげたものも返してもらい、リコーダーが欲しい別のところへ持っていきます。在庫管理は大切です。去年は相当のギターをいただき、現在ギターが70台、鍵盤ハーモニカも2～300台貯まりました。だんだんこの活動が広まって集めやすくなってきています。それで今年から棚卸をしようと考えました。在庫は幾つあり、本年度は何台集まって、どこの国に何台くらい出ていったのか？それをHPで発表します。そういう企業的な感覚で慈善活動をやっていく、費用対効果を考えることが大切だとようやく分かってきました。フィリピンでは子供たちに差上げて使ってもらい、で構いません。でもアフリカでは？子供たちは楽器が欲しいと集まってきます。では楽器を使って何ができるのか？タンザニアで7台の鍵盤ハーモニカを差上げて練習してもらい、半年後に日本大使館の天皇誕生日レセプションで演奏する機会がありました。4曲くらいですが、本当に感動しました。しかし子供たちがどこまで続けられるかは、やはりフォローが必要だと思います。小学生に楽器を渡しても教える先生がいなくては意味がありません。そこでタンザニアでは大学生にプレゼントしました。音楽大学にピアノ科はあってもピアノが無いのです。キーボードはあっても壊れていたのでも喜んでもらえました。先生を育成しないとダメなので、教育の一貫性を保つ意味で徐々に増やしてきています。



去年は嬉しいことにご紹介をいただいて、モンゴルへ生まれて初めて行きました。仕事の関係で7～80ヶ国に行っていると思いますが、ロータリーの皆さんに便乗させてもらって滞在できました。とても楽しかったし、それだけでなくロータリークラブの勉強もできました。台湾でのRC食事会には何度か参加していましたが、今日改めてお話しもさせてもらってロータリーの力に驚いています。国連加盟国198カ国に近い各国にあるというのは凄いことです。鍵盤ハーモニカを担いで回っている身としては組織の力に感心させられます。モンゴルでの活動も素晴らしいと思います。お仕事もお忙しい中、それだけの時間やお金を費やして活動されるのは本当に「愛」がなければできません。私たちも楽器を持って一緒に2つの学校を回らせてもらいました。1つはハンディのある特殊学級の子供たち。目が見えない子がいきなり鳴らして音楽を奏でた時には感動しました。次の学校では100人くらいの子供たちに歓迎してもらえました。日本で使われなくなった古い楽器がこれほどまでに役立つものかと、活動の度に実感しています。海外との交流ではいくら話し合っても理解しあえないことが多々あります。ロータリーのように統一意識があれば良いのですが、一般的なビジネスの場などでは難しいのです。その中で万国共通の言葉はやはり音楽ではないでしょうか？音楽を通じれば豊かな気持ちを共有できます。ですから楽器を贈る活動も年々参加して下さる方が増えてきています。南足柄市、松田町、小田原市の一部、中井町、山北町、大井町なども賛同してくださっていますし、紹介も無しに手紙を出しただけで静岡県伊東市でも市長や教育長が会ってくれました。それだけ活動内容を理解していただけているのだと思います。嬉しいことに、モンゴルでは良い出会いがありました。皆さんが浄水器を贈られたセレモニーでロシアのチタからいらしていた女性と知り合えたのです。今、ロシア語の勉強をしていて、4月からチタへ留学する予定です。当然ながら鍵盤ハーモニカも2月に送ることになっており、向こうに住みながら活動を続けていくつもりです。現地のRCと一緒に活動したいと考えていますので、皆様もぜひチタへ遊びにいらしてください。去年は世田谷でも楽器収集活動をしました。チェロ、トランペット、サクソ…どんどん出てきて驚きましたが、国によってニーズが違うので譲り先を考えていかなければなりません。ただ右から左へ渡すだけでなく、鼓笛隊を作るのか吹奏楽バンドを作るのか、それにはどんな楽器が必要なのかを考慮していきたいと思います。アフリカ諸国へは日本の大使館が全面的に応援してくれています。日本と海外のつながりを強化するためにも役立つ活動です。アフリカ進出を考えている企業もチャンスはいくらでもあります。例えばタンザニアでは獲った魚をそのまま露天で売っているのでもすぐに傷んでしまいます。干物にしたらどうでしょう？小さな資本でも商売のチャンスがあると思います。海外では危険なこともあります。そういう時は鍵盤ハーモニカを演奏すると皆の顔が柔らかくなります。言葉はできなくても音楽の力は偉大です。私も楽器の勉強をして少しは指導ができるようになりました。そういう方面も音大の学生などと一緒にやろうと考えています。今までの費用は全て自己負担です。皆さんとご一緒にできることもあるでしょう。フットワークは軽いのでお役に立つこともあるでしょう。これからも小田原城北RCとのお付き合いを最優先に進めて行くつもりです。よろしくお願ひします。